

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2015
平成27年

2.15

半島を染める
早春の彩り!

目次

| | |
|----------------|----|
| 「しみんの広場」 | |
| 田原市シルバー人材センター | 2 |
| あつまるタウン田原 | |
| 今月の花「レイコのコレいね」 | |
| 地域の話題 | |
| 市民活動を応援するページ | |
| スクールレポート | |
| 学校生活の一コマを紹介 | 6 |
| 選挙結果 | 7 |
| 連載コーナー | 8 |
| おしらせ | 10 |
| 渥美郡三町の時代 | 12 |



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- あつまるタウン田原・レイコのキレイいね……………3ページ
- 地域の話題(六連校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

田原市シルバー人材センター



広報サポーター
大久保ゆり

60歳以上の健康な高齢者の皆さんが会員登録をし、その方々の知識や経験を生かした仕事を紹介している田原市シルバー人材センター。
仕事を生きがいとし楽しく働く会員さんにお話を聞きました。

田原市シルバー人材センターでは、高齢者ならではの仕事を家庭・企業・公共団体などから引き受けて会員に提供しています。現在300人近い方が会員登録し、あて名書きや除草・草刈り、



● 賞状を書く河合さん

施設の清掃、庭木の剪定などの仕事をしています。野田町にお住まいの河合登貴夫さん(89歳)は

毛筆の賞状書きの仕事を30年近く続けています。この日も一枚の賞状を丁寧に書いていました。



● 剪定作業をする会員さん

河合さんは、「歳を取っても仕事ができる」ということは、生活にハリが出てくるね。書く仕事は自分の楽しみにもなっているよ」と笑顔で話してくれました。次に、剪定作業をされている会員さんを訪ねました。イヌマキ(東三河ではホソバという)とツ

バキが屋敷をぐるりと囲んでいるお宅で会員さんたちが脚立に上がりリズムよく剪定していました。このお宅では毎年、年末になるとセンターに依頼して整えてもらっているそうです。



● 小物入れを作る会員さん

最後に、紙すきグループの皆さんの所へお邪魔しました。道の駅「田原めつく

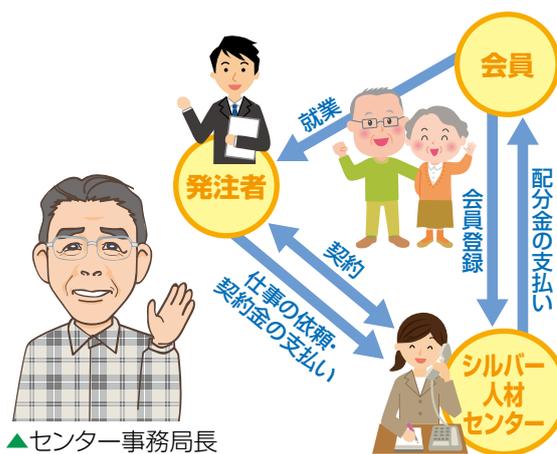


● 完成した作品

んはうす」で押し花入りの葉書や小物入れなど販売しているのを見たことがありますか。紙すきの皆さんが、牛乳パックを再利用した紙をすいて作ったものです。きつちりと縁取られた品々は美しく、私も押し花入りのはがきの愛用者で、受け取った人に「これ手作り? いいね」

と喜ばれています。どの会員さんも、自分の知識や経験を生かして、いきいきと働いていました。

田原市シルバー人材センターのしくみ



センターでは、会員と仕事を募集しています。働きたい方、仕事を頼みたい方、お気軽にお問い合わせください。

▼田原市シルバー人材センター
 23局1438 FAX 29局0051
 http://www.sjcre.jp/fahara/



3 / 27 創刊 田原に密着した生活情報誌が誕生!

投稿 あつまるタウン田原

セントファアールに事務所を構え、田原市の地域みっちり生活情報誌を発行するたはらはなまる編集室をご紹介します。

3月27日に創刊する「たはらはなまる」は、毎月第4金曜日に田原市の全世帯に配布するフリーペーパーです。

地域密着をテーマに掲げて、地元の人「歴史」「文化」など地域に根ざした情報・幅広い年齢層が興味を持つ情報を盛り込み、市民の皆さんに興味を持ってもらえるような媒体を目指しています。

あつまるタウン田原は、「たはらはなまる」に情報提供し、一緒にこの街



●表紙 (イメージ)

を盛り上げていきます。皆さんからの街の面白い出来事や紹介したい場所など、さまざまな情報もお待ちしております。

▼(株)プライズメントたはらはなまる
編集室 ☎22局7771

✉ tahara870@prizement.com

▼あつまるタウン田原(丸山)
☎24局2345 FAX 24局2346

投稿 田原市グラウンドゴルフ協会 グラウンドゴルフ県大会優勝

グラウンドゴルフとは、ボールを専用クラブで、8カ所のホールポストに順番に入れるスポーツです。

田原市グラウンドゴルフ協会は、現在約200名の会員が共にプレーし、親睦を深めています。

昨年11月に行われた「グラウンドゴルフ県大会」では、会員の藤城秀二さんが見事優勝に輝きました。

皆さんも、私たちと一緒に楽しくプレーしてみませんか。田原市グラウンドゴルフ協会は、新たな会員をお待ちしています。



●優勝した藤城さん

▶田原市グラウンド・ゴルフ協会事務局(甲斐) ☎23局0376

今月の花

レイトのコレいいね

▶農政課 ☎23局3517

●花で激励、花で祝福



元日に行われたニューイヤー駅伝で、トヨタ自動車チームが優勝したのは記憶に新しいと思います。その予選会をかねて田原市内で行なわれた中部・北陸実業団対抗駅伝大会において優勝したトヨタ自動車チームに、JA愛知みなみ Sprema 部会の提供によるビクトリーブーケが手渡されていました。

また、1月29日のニューイヤー駅伝優勝報告会においても、ビクトリーブーケが選手に手渡されました。田原市の花で激励されて送り出されたトヨタ自動車チームが優勝という結果で祝福されたことは大変喜ばしいことであり、その場に花があるということも「花を贈るまち」らしい光景であると感じました。



2月の 渥美半島の花と鉢花



ガーベラ

(花 / 出荷時期: 通年)

花ことば

神秘、崇高美

アレンジによく使われる花で、県内1位の生産量、約580万本出荷されています。



ストレリチア

(鉢花 / 出荷時期: 4月~10月)

花ことば

恋する伊達者

色と花姿が印象的な花で、約3000鉢出荷されています。



▲たくさん生えますように(シイタケの種駒の埋め込み作業)



▲ホダ木となるエノキを里山で伐採する様子

地域の話題

六連校区

「里山保全へつなげるふれあい」

里山保全活動などを通じ、地域のふれあいを大切にしている六連コミュニティ協議会からお便りが届きました。



ヒラタケ・シイタケ栽培体験

六連校区では毎年2月、地域の交流行事として「キノコ栽培体験講座」を開催。幼児から高齢者まで、毎年100名ほどの校区民が参加しています。この講座は3年前に始まり、収穫も良好なことから校区行事として続けられています。栽培体験するキノコはヒラタケとシイタケです。ヒラタケについては、講座前日に校区内の里山で、校区役員がホダ木となるエノキをチェーンソーで伐採することから行っています。講座の当日は、長さ1mほどの原木を接種直前に30センチ前後に玉切り(枝払いし丸太とすること)し、切り口の断面にヒラタケ菌を塗ったら元のよ

地域発!

うに合わせて釘止めします。参加者の自宅で半日陰に置くなどを半年あまり続け、11月ごろに収穫します。シイタケについては、ドングリの木をホダ木として購入しています。講座では側面に数カ所の穴を電動ドリルで開け、種駒(木駒に菌糸を培養させたもの)を金づちで埋め込みます。この作業が子どもたちは楽しいようで、大いに盛り上がります。収穫時期は、ヒラタケとは異なり1年半から2年後です。

どちらも、天ぷらやバター焼き、みそ汁や鍋の具にと、各家庭でおいしく調理され、秋から冬にかけての食卓をにぎわしてくれます。

もうひとつの楽しみは？

講座では、校区役員が調理した豚

汁と石焼き芋が食べ放題で用意されます。普段とは違う慣れない作業にお腹を空かせた参加者が、温かい食事に舌鼓を打ちながら歓談するのも、この行事の人気のひとつです。



▲皆に人気の豚汁を作ります

大切な里山をいつまでも

里山を整備するといろいろな樹木が伐採されます。料理などの燃料、野外遊具や工芸品の材料、遊歩道や階段整備の資材などに利用できますが、キノコ栽培の材料としても高い利用価値があり、活用しない手はありません。

里山は災害を防いだり、空気をきれいにしたりもしてくれます。次の世代にも、豊かな姿で残していきたいと考えています。





市民活動を応援するページ



支援制度情報

平成27年度市民協働関連補助金募集スタート!

各種市民協働関連補助金の申請受付を2月25日(水)から開始します。
あなたの市民活動に、ぜひご活用ください。

※すべて平成28年2月末日までに完了する事業が対象



●市民協働まちづくり事業補助金

市民活動団体による、地域づくり、清掃活動、福祉活動など、公共性および公益性の高い事業を支援します。

応募要件 市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体

| 補助額 | | 募集締め切り | 選考方法 |
|---------------|-----------------------|--------------------|--------------------------------------|
| 事業費 10万円以上のもの | 事業費の2分の1 (上限 20万円) | 3月31日 火 | 書類審査 公開審査会(4月15日 火) ※予算の範囲内で審査結果順 |
| 事業費 10万円未満のもの | 事業費の2分の1 (5万円未満) | 平成28年1月29日 金 ※随時募集 | 書類審査 ※予算の範囲内で先着順 |

●新規団体活動補助金 ▶ 上限額アップ

設立2年未満の団体による、福祉、環境、まちづくりなどの活動で、市民感覚の柔軟なアイデアや発想のある事業を支援します。

応募要件 市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体(設立2年未満)

| 補助額 | 募集締め切り | 選考方法 |
|---------------|--------------------|------------------|
| 事業費の全額(上限5万円) | 平成28年1月29日 金 ※随時募集 | 書類審査 ※予算の範囲内で先着順 |

●人材養成活動補助金

市民活動推進に有効な講座の受講料、交通費、受講に必要なテキスト代などを支援します。

応募要件 平成27年4月1日現在で田原市内の市民活動団体(5名以上で構成された団体)に所属している方

| 補助額 | 募集締め切り | 選考方法 |
|--------------------|--------------------|------------------|
| 事業費の全額または一部(上限3万円) | 平成28年1月29日 金 ※随時募集 | 書類審査 ※予算の範囲内で先着順 |

●市民活動チャレンジ支援補助金

若者の市民活動団体による公益活動を支援します。

応募要件 市内で活動を行う青年層(おおむね18~40歳)5名以上で構成された団体

| 補助額 | 募集締め切り | 選考方法 |
|------------------|--------------------|------------------|
| 事業費の2分の1(上限10万円) | 平成28年1月29日 金 ※随時募集 | 書類審査 ※予算の範囲内で先着順 |

申請方法 市民協働課、市民活動支援センターで配布する申請書類に必要事項を記入のうえ、直接または郵送にて提出(申請書類は市ホームページからもダウンロード可 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

申請先 市民協働課または市民活動支援センター

その他 平成27年度予算が確定するまでは、仮受付とします。/補助金の応募方法、申請書の書き方に関するご相談は、市民活動支援センターで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

《平成26年度事業報告会》—公開—

今年度の補助金採択団体が、それぞれの活動報告を行います。補助申請の参考にもなりますので、ぜひお越しください。※申し込み不要/入退場自由

●日時: 3月13日 金 午後7時~ ●場所: 田原文化会館 201・202 会議室

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111 (内線 812) ※開設時間のみ

☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です!

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。



スクールレポート

SCHOOL REPORT 77

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ふるさとキャリア教育」と「スキー・スノーボード教室」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原中部小学校 「ふるさとキャリア教育」

夢を抱く子 ～生き方を学び考える夢育活動の推進～

田原中部小では、「生活科」「総合的な学習の時間」「特別活動」を統合した『夢育活動』を教育課程に位置付けて、学習に取り組んでいます。「ふるさと田原」の自然や文化、伝統、防災、福祉などを素材として学習する中で、将来、社会へ出てたくましく生きていけるように、地域への愛着を高めたり、人としての生き方を考えたりする活動をしています。

6年生の「動き出せ！われら、未来の『夢WORKER』」という学習では、働くことがどんなことかを実感したいと考えた子どもたちが、市役所街づくり推進課や「あつまるタウン田原」、成章高校商業科が進めている「幸せの四つ葉プロジェクト」に参加しました。成章高校商業科の模擬子会社となって「幸せのミサンガ」の製作を行い、蔵王山展望祭りで販売しました。何度も作り直して、商品として販売できる品物を作り上げました。働くことの大変さを実感した子どもたちでしたが、瞬間に完売し、達成感も味わいました。こうした学習を通して、夢を抱く子どもが育つことを願い、今後も夢育活動に取り組んでいきたいと思ひます。



▲製作したミサンガを販売する子どもたち

中山小学校「スキー・スノーボード教室」

大自然の中、ウインタースポーツを満喫



▲スノーボードを習う子どもたち

中山小学校では、20年ほど前から毎年、5年生がスキー教室を実施しています。最近2年間は、子どもたちの希望を取り入れ、スノーボードも選択できるようにしています。長野県あらかぎ高原スキー場まで出かけ、2日間ウインタースポーツを楽しみます。子どもたちは、この2日間で、みるみるスキーやスノーボードの技術を向上させていきます。そして、田原市では体験できない、雪国ならではの貴重な体験をしてきます。

このスキー・スノーボード教室では、スポーツを体験するだけでなく、集団生活の中できまりを守る大切さを知ったり、「旅のしおり」を自分で確認して5分前行動を心がけたりします。また、世話をしてくださる旅館の方やインストラクターの方に感謝の気持ちを表すことも、大事な社会勉強となります。

現在、このようなスキー教室を実施している学校は少ないと思ひますが、中山小学校では価値のある活動としてとらえています。今後も、本校の特色ある行事として続けていきたいと考えています。



▲全員そろって記念写真

選挙結果をお伝えします

▶田原市選挙管理委員会(総務課内)
☎23局3506

平成27年2月1日執行 愛知県知事選挙 開票結果

2月1日(日)に行われた愛知県知事選挙の開票結果は以下のとおりです。
(得票順)

| 候補者氏名【敬称略】 | 得票数 | 愛知県計 | 当選 |
|-----------------|--------|-----------|----|
| 大村ひであき (無所属) | 18,150 | 1,629,147 | ◎ |
| 小松たみこ (無所属) | 3,608 | 391,308 | |



平成27年2月1日執行 田原市議会議員一般選挙 結果

1月25日(日)の告示日において、立候補届出者が定数の18人であったため、無投票となり、以下の18人の方々が当選しました。(届出順)

| 候補者氏名【敬称略】 | 候補者氏名【敬称略】 |
|------------|------------|
| こうべ 正男 | 森下 たかじ |
| 杉浦 文平 | 仲谷 まさひろ |
| 大竹 まさあき | 平松 あきのり |
| 辻 ふみこ | 太田 ゆきお |
| 古川 みさか | 荒木 茂 |
| 赤尾 まさあき | 彦坂 ひさのぶ |
| 広中 せいすけ | 岡本 さだあき |
| 中神 やすのり | わたらい 清継 |
| 小川 たかお | 長神 たかし |

田原市長選挙

投票日:平成27年4月26日(日)

(告示日:平成27年4月19日(日))



■選挙運動説明会

立候補予定者および運動員を対象とした選挙運動説明会を次のとおり開催しますので、関係者はお出席ください。

- ▶日時 = 3月24日(火) 14:00~
- ▶場所 = 田原市役所 302会議室(北庁舎3階)
- ▶その他 = 1候補者につき3名まで出席可



〈愛知県議会議員一般選挙〉

投票日 = 平成27年4月12日(日)

(告示日 = 平成27年4月3日(金))

■田原市長選挙日程

| 期日 | 内容 |
|----------|---|
| 3月24日(火) | 選挙運動・立候補事務手続説明会 (14:00~/302会議室(北庁舎3階)) |
| 4月15日(水) | 立候補届出書類事前審査 (9:00~16:00/302会議室(北庁舎3階)) |
| 4月18日(土) | 選挙時登録基準日 選挙人名簿登録日 |
| 4月19日(日) | 選挙告示・立候補受付 (8:30~17:00/301会議室(北庁舎3階)) |
| 4月20日(月) | 期日前投票・不在者投票開始 |
| 4月25日(土) | 選挙運動最終日 期日前投票・不在者投票最終日 |
| 4月26日(日) | 投票日(7:00~20:00/各投票所) 開票(21:30~/田原市総合体育館) |

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

104

2月は省エネルギー月間です

増加し続けるエネルギー消費量。その要因には、世帯数の増加とともにエアコンなどさまざまな家電製品が普及してきたことが考えられ、快適を求めるライフスタイルの変化が影響を与えているようです。

そこで省エネにつながる家電製品の上質な使い方を紹介します。

●エアコン

カーテンで窓からの熱の出入りを防ぎましょう。

●電気冷蔵庫

冷蔵庫は壁と適当な間隔をあけて置きましょう。冷蔵庫は庫外の室温が低いほうが効率よく冷えます。

●ジャー炊飯器

なるべく保温時間を短くすることが一番の省エネになります。

●電子レンジ

野菜などの下ごしらえに電子レンジを使いましょう。調理時間の短縮にもなります。

●電気便座

冬はフタを閉めて放熱を防ぐと省

エネに効果的です。

▶たはらエコチャレンジ宣言に登録しましょう。

平成20年から登録を開始したたはらエコチャレンジ宣言登録シートの内容を見直し、装い新たに再登録を開始しました。登録証を持って環境政策課が開催するイベントに参加すると特典もありますので、ぜひ登録しましょう。

◆登録方法

- 登録シートに氏名・住所など必要事項を記入し、家庭でできる省エネ取組内容の一覧で、自分でもできるところものにチェック。※登録シートは市役所環境政策課窓口で配布しています。(市ホームページからもダウンロード可)
- 登録シートを環境政策課窓口へ提出。
- 後日、登録証と記念品が郵送。



▼環境政策課

23局7401 FAX 23局0180

http://www.city.tahara.aichi.jp/

環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん

29

ゴミミンとリサイクルレンジャー

ごみ出しルールの守られていない「違反ごみ」が、ごみステーションに多く出されています。今回は、違反ごみの取り扱いについてお知らせします。



◆違反ごみとは？

- 分別されていないごみ
- 指定袋に入っていないごみ
- 収集日以外に出されたごみ
- 粗大ごみ
- 事業系ごみ

このごみは、収集できません。

分別されていないごみ(きんごみ等)を入れてください。
指定袋に入っていない(指定袋の容量を超えて)ごみを入れてください。
収集日以外に出されたごみ(指定袋の容量を超えて)を入れてください。
粗大ごみです(焼却センター・資源センターへ直接搬入してください)。
事業系のごみです。収集できません(事業系に分別して収集してください)。
資源物(資源物)です。資源物(資源物)として、資源物(資源物)として収集してください。

ごみステーションに残しておきます。

ごみステーションに残しておきます。

「違反ごみシール」を貼って、しばらくの間、ごみステーションに残しておきます。

ご自分が出したごみが残されていたら、違反理由を確認し、適正に出し直してください。

◆違反ごみ件数

- 平成23年度…3428件
- 平成24年度…3245件
- 平成25年度…3372件

◆間違えやすいごみ

- 布類として出せないもの
- 布団・敷きパッド・じゅうたん・マットレス
- 粗大ごみ
- つば付きの帽子
- 枕・クッション・金具付きのかばん
- もやせないごみとして出せないもの
- 座いすやストーブなどの大型家具・電子レンジなどの大型家電
- 粗大ごみ

- 市で引き取れないもの
- タイヤ・バッテリー・消火器
- 販売店に処分を依頼

※粗大ごみは、直接各資源化・環境センターに搬入してください。

違反ごみは、景観や公衆衛生を損ねるだけでなく、処理に多大な経費がかかります。ごみを出すときには、ごみの分け方・出し方パンフレットやごみ収集カレンダーを確認し、ルールを守るようご協力ください。

▼清掃管理課

23局3538 FAX 23局0180

http://www.city.tahara.aichi.jp/

景観ってなあに？

vol.5

▶街づくり推進課 ☎23局3535

●景観でまちおこし～福江*つるし飾りロード～

まだまだ寒い毎日ですが、渥美半島では菜の花が咲き誇り、一足早い春を感じることができます。福江町の免々田川沿いも、地域の方々が育てた菜の花で彩られ、美しい景観をつくりだしています。今回は、今年で2



年目を迎える「福江*つるし飾りロード」(3月15日まで開催)をご紹介します。

この取り組みは、渥美ロータリークラブが主催する免々田川「菜の花・桜まつり」に合わせ、清田・福江校区まちづくり推進協議会が開催します。これは、早咲きの河津桜が咲く免々田川沿いから続く福江地区の店舗の軒先などに、子どもたちが作成したつるし飾りや一輪挿し、のれんなどを飾り、まちなかへ観光客

などを誘導することでにぎわいを創出しようとするものです。保育園児からお年寄りまで参加して展示は約110カ所となり、地域ぐるみの景観まちおこしへと発展しました。福江*つるし飾りロードマップは、田原市博物館のホームページからダウンロードすることができます。ぜひ皆さんも福江に足を運び、かわいいつるし飾りを見ながら、まちなかの散策を楽しんでくださいね。

田原市博物館のホームページ

☎http://www.taharamuseum.gr.jp/



みんなで取り組む防災・減災

防災知恵袋

11

情報発信などに関する協定について



こ
ろ
んには、しろちゃんです。
田原市では昨年12月に市民の皆さんに、災害時に必要な情報を迅速に提供するために、ヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しました。

◆協定の主な内容

- 災害時に市ホームページへの接続が集中し閲覧しづらい状況を防ぐために、市ホームページのキャッチサイト(別のウェブサイト)をヤフーに掲載し、接続を分散します。(市ホームページが更新されると情報が反映されます)
- 平常時から市内の避難所などの防災情報をヤフーに掲載します。
- 市内の避難情報、被害状況、ライフライン、必要救援物資などの情報をヤフーに掲載します。

◆災害時に備え連携を強化

田原市では、このほかにも他自治体との相互応援協定や、民間企業との応急生活物資の調達に関する

る協定、各種団体との応援活動協定など数多くの協定を締結しており、平成27年1月末現在で50の協定を締結しています。

田原災害対策連絡会が発足

1月6日(火)、田原警察署において田原災害対策連絡会の発足式が行われました。この会は、田原市、田原市消防本部、田原市消防団、自主防災会、海上保安庁三河海上保安署、田原警察署、安全波乗隊の7機関で構成され、災害現場で迅速かつ的確な避難、救助活動、被災者救援活動などを実現するために発足しました。

今後は、情報や意見の交換、合同訓練などを行い、地域の連携を強化するために活動します。



▼防災対策課 ☎23局3548



募集

WANTED

田原市博物館企画展監視員

田原市博物館（4月11日～5月24日）
渥美郷土資料館（4月25日～6月7日）で開催する企画展の展示室監視員を募集します。

▼募集人員 1「博物館」7名程度 1「郷土資料館」7名程度
▼勤務形態 1「午前9時～午後1時と午後1時～5時の交替勤務」
▼賃金 1時給850円
▼選考方法 1応募者多数の場合は、書類選考後、面接（期日など詳細は後日通知）
▼申し込み 13月10日（火）までに田原市博物館にある履歴書に

必要事項を記入のうえ開館時間内に提出（郵送不可）

▼田原市博物館

☎22局1720 FAX22局2028

「サンテファーム」および「ふれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡（5m×4m）の広さで、利用期間は4月1日～平成28年3月31日、利用料は年額5000円です。申込者多数の場合は抽選により決定します。

サンテファーム

▼場所 1田原市野田町芦ヶ池地内

▼区画数 190区画 ▼申し込み 1サンテパークにある利用許可申請書に

必要事項を記入のうえ提出 ▼受付

期間 12月16日（月）～3月6日（金）

午前8時30分～午後5時

▼サンテパークたはら

☎25局1234 FAX25局1235

田原市民ふれあい農園

▼場所 1田原市田原町北荒井地内

▼区画数 150区画 ▼申し込み 1農

政課または営農支援課にある利用許

可申請書に必要事項を記入のうえ提

出 ▼受付期間 12月16日（月）～3

月6日（金）

▼営農支援課（田原農業支援センター内）

☎22局1126 FAX22局1127

自衛官・予備自衛官補

自衛官（一般幹部候補生）

▼応募資格 122歳以上26歳未満の方（平成28年4月1日現在）
▼受付期間 13月1日（日）～5月1日（金）
▼入隊 1平成28年3月下旬～4月上旬

予備自衛官補

▼応募資格 1一般（18歳以上34歳未満の方）、技能（18歳以上の方「保有する技能に応じて53歳未満～55歳未満」）
▼受付期間 13月24日（火）まで
▼教育訓練開始 17月以降

▼自衛隊豊橋地域事務所

☎（0532）33局2693

Ⓗttp://www.mod.go.jp/gsd/jeikanbosyu/

ディスクドッジ大会 参加者

▼対象 1「ジュニアの部（小学生）」

1チーム12名 1「一般の部（中学生以

上）」1チーム9名 ▼日時 13月

22日（日）午後1時～（参加数によっ

て変更あり） ▼場所 1渥美運動公

園屋内競技場 ▼参加料 1無料

▼申し込み 13月6日（金）までに、

スポーツ課、田原文化会館、赤羽根文化会館、渥美運動公園、各市民館

にある申込用紙に必要事項を記入のうえ申込用紙設置施設に直接提出 ※詳しくはお問い合わせください。

▼スポーツ課

☎23局3531 FAX22局3811

平成27年度愛知県要約筆記者養成講習会 受講者

▼対象 1愛知県内に在住または在勤し、聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有し、要約筆記活動および聴覚障害者の支援に携わることができ

る20歳以上60歳以下の方 ▼期間 1

4月12日（日）～平成28年1月24

日（日）全20回 ▼場所 1ウイ

あいち（名古屋市東区上野杉町1

番地） ▼定員 1「手書きコース」20

名以内 1「パソコンコース」20名以

内 ▼参加料 11万2000円（テ

キスト代3400円別途） ▼申し

込み 13月6日（金）までに受講

申込書（Ⓗttp://www.geocities.jp/

npainantyou/からダウンロード）

に必要事項を記入のうえ、郵送にて

（消印有効）

▼NPO法人愛知県難聴・中途失聴

者協会事務局（井川方）（〒479-1

0803 常滑市檜原字長曾9-17）

☎（0569）35局7460

Ⓗnpainantyou@yahoo.co.jp



生活

生活

鳥羽伊良湖観光交流イベント 「鳥羽VS伊良湖勝つのはどっち」

田原市と鳥羽市による次年度の開催地をかけた対決です。

▼日時 3月7日(土)午前10時～午後4時
▼場所 伊良湖港緑地公園(道の駅伊良湖クリスタルポルト東側)

▼内容 鳥羽市の海女小屋体験や海女衣装貸出、鳥羽市の伊勢えびと田原市の野菜を使ったコラボ鍋の試食、大あさり(田原市)カキ(鳥羽市)の食べ比べ対決(無料)や特産品の販売、菜の花まつり会場とのスタンプラリーやステージイベント、餅投げなど。詳しくは市ホームページをご覧ください。



▼主催 田原市・鳥羽市

▼商工観光課

☎23局3522 FAX22局3817

✉syoko@city.tahara.aichi.jp
http://www.city.tahara.aichi.jp/

春季全国火災予防運動 3月1日(日)～7日(土)

これからの季節は寒さも和らぎ、火への注意も緩みがちになります。火災から命や財産を守るために、火の取り扱いには十分注意しましょう。

●住宅防火7つのポイント

- 1 寝たばこは、絶対にやめる。
- 2 ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使う。
- 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4 逃げ遅れを防ぐために、消防法によりすべての住宅に設置が義務付けられている「住宅用火災警報器」を設置する。
- 5 火災の拡大を防ぐために、寝具や衣類・カーテンなどは、防火製品を使用する。
- 6 火災を最小限に抑えるため、住宅用消火器などを設置する。
- 7 お年寄りや体の不自由な方を助けるために、近所の協力体制を整えておく。



●平成26年度防火標語

「もっじいかい 火を消すまでは
まあだだよ」

▼消防課
☎23局4074 23局0180

デジタルアナ変換サービスが 終了します

ケーブルテレビによるアナログテレビへのデジタルアナ変換サービスは、平成27年3月に終了します。デジタルアナ変換視聴者の方は、おおむね、次のいずれかの対応が必要です。

- デジタル放送対応のテレビに買い換える。
- デジタル放送対応のチューナーをアナログテレビに接続する。
- ケーブルテレビに加入して専用チューナー(セットトップボックス)を接続する。

▼総務省 地デジコールセンター
(受付:午前9時～午後6時)
☎0570(07)0101

パブリックコメント 意見募集!

パブリックコメント手続制度に基づき、次の案件について意見を募集します。より良いまちづくりのため、皆様のご意見をお聞かせください。

▶意見募集期間=3月2日(月)～3月31日(火)

1 特別用途地区(大規模集客施設制限地区)に係る建築条例案

コンパクトな都市構造を形成するうえで、地域の交通環境に大きな影響を与える可能性のある大規模集客施設について、都市計画法に基づく特別用途地区(大規模集客施設制限地区)内において、その立地を制限するための条例を制定します。



担当課▶街づくり推進課

☎23局3535 FAX22局3811 ✉machi@city.tahara.aichi.jp

◎意見提出方法

①公表場所へ持参②郵便③FAX④Eメール
住所、氏名、電話番号を明記のうえ提出してください。(個々のご意見には直接回答しません。)

◎計画案の公表場所

各案件の担当課、市役所情報広場、赤羽根市民センター、渥美支所地域課、中央図書館、市ホームページ

http://www.city.tahara.aichi.jp/

渥美郡三町の時代



郷土史編さん室 ☎36局6503

昭和33年町制施行 当時の赤羽根町の様子

赤羽根村は、昭和33年（1958）11月1日に町制を施行して、人口7348人、戸数1302戸の「赤羽根町」となりました。同年9月11日付「村を町とすることについての申請書」では、町制を施行しようとする理由について次のように記されています。

（原文を基に一部表記を改めた）

「赤羽根村は渥美半島の中央部にあつて、太平洋に面する面積二三・七三平方キロメートルの農業

を主体とする豊かなる一村であつて、住民は古くから太平洋の荒波にきたえられた根強さを持つており、農業の多角化と機械化によつて経済力は急速に伸張し、村民の文化的生活もまた急速に向上した。

又、交通においても、村の東西を貫く主要県道は近年拡張改修せられて物資の出荷搬入も非常に容易となり、交通量も急増し交通は極めて便利となった。これによつて商工業の発達を促し、俸給生活も増加し、都市的業態の戸数は増加の一途をた

どつている。

一面、渥美半島の観光客は近年非常に増加して、大山々麓の原生林や咲き乱れる各種のお花畑の見物客、又、漁港の釣り客等、活況を呈している。

特に農林省の指定による赤羽根漁港は太平洋に三百数十メートルの突堤を築く大工事であるが、これが修築の暁には二、三百トン級の漁船を収容するものであつて、本村の産業は革命的に発展し、人口の増加、商工業の発展が期待され、町としての将来性は大いに期待される。（以下略）

町は、現在同様に農業が主要産業で、後に豊川用水の通水の一つの契機として日本有数の農業地帯へと発展していくのですが、当時の記録を調べてみると、意外にも農業への期待は二の次とされていました。

最も期待されていた事業、それは遠洋漁業基地としての赤羽根漁港の建設計画でした。工事は昭和28年から始まり、完成時には中型漁船80隻を収容する計画で、金原新町長は当時の新聞で「実現の暁には人口三万人の都市建設を目標」と抱負を述べています。しかし、工事が難航し長期化する間に遠洋漁業が転換期を迎えたこともあり、遠洋漁業基地としての計画は水泡に帰してしまいました。

一方この間、漁師たちの間では漁業に見切りをつけ、農業に転業する人も少なくありませんでした。これにより農業人口が増加したことは、この後、現在へと続く農業王国赤羽根を支える原動力の一つとなつていくこととなります。

（執筆委員・石井一希）

今月の「表紙」

▼「早春賦」の歌詞のとおり、立春を過ぎたとはいえまだまだ寒いこの時期。でも、太陽の光を浴び、一帯を黄色く染める景色を眺めるだけで、春の息吹を感じる事ができますよね。「2015渥美半島菜の花まつり」も3月末まで開催していますので、郷土の「春」を感じてみてはいかがでしょうか。（H）

【表紙の写真】満開の菜の花畑（加治町）



●建設中の赤羽根漁港の堤防(昭和32年ごろ／田原市博物館所蔵)